

視覚 障害



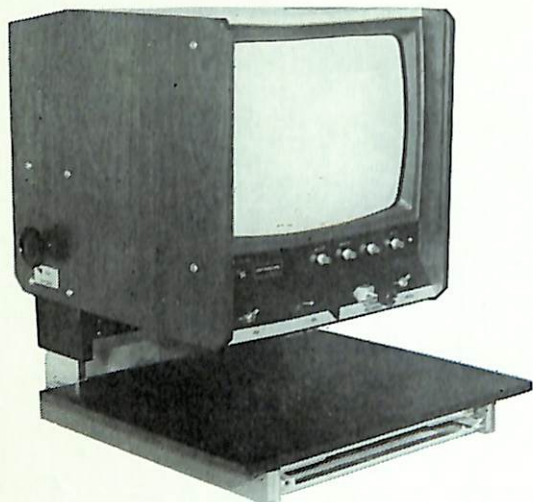
その研究と情報

1980年 1月 No.45

ISSN 0385-7476

オプチスコープ CCU-C型

弱視者用拡大読書器



弱視の方々がご自分で
一般教科書・辞書・参
考書などが自由に読め
ます。

一般のノート便箋に書
けます。職場にあれば
小物部品検査など立派
に仕事ができます。

(拡大率4倍～20倍連
続可変)

☆個人では・辞書・参考書を自由に調べて、お好きな
書物が読め、手紙などが書けます。

☆盲学校では・弱視の方々が **点字教育** から **見て書
ける教育** に、多くの市販の書籍が活用
できます。

☆図書館では・地域住民の方々と弱視の皆さんが自由に
図書館で読み調べ知識吸収の楽しさを。

弱視の皆さんが書ける楽しさ、読める喜びを！

代理店
(西日本地区)

クスタ事務機 株式
会社

オリンピア事業部

〒541 大阪市東区瓦町5-71
☎ 06-203-5061

製造・販売
(東日本地区)

株式会社 **三カ三**

特機部

〒102 東京都千代田区麹町1-10
☎ 03-263-3921

代理店
(北海道地区)

株式会社
北海道オフ機伐

〒063 札幌市西区西野1条3-62
☎ 011-661-0834

全盲主婦と家庭



精神的にうるおいのない暮しは寂しいから——

暇をみつけてピアノに向かう 塩谷靖子さん（全盲）と

長女妙ちゃん（4歳）

育 児



長男純一君の授乳はもう手なれたもの。

育児はたいへんだけれど喜びでもある。成長とともに問題は次に。

病気がいちばん困ると塩谷さん。（51年夏）



純一君は1歳の時から保育園（区立）へ。

送り迎えは自分で。帰りに買い物をする。

買物・そうじ



中途失明なので外出はにが手です。

買物は自然親切なお店を選ぶようになります、と藤井さん。

仕事から（夫婦とも全盲マッサージ業）お客様も多いし、見えないからほこりがあってもしかたがない、と言われないように特に気をつけて念入りにやっています。



ちょっと休憩してからお料理



「家事でいちばんたいへんなのは、やっぱりお料理かしら？ カレーだけでできればいいって、結婚する時にね。でも、それだけじゃあ——って結婚してから主人は言うんです。ずるいですよね——」今日の献立は、サケとイカのフライ。調味料、小麦粉、パン粉等は容器により分類してきちんと整頓され、よどみない手順でお料理は進められた。



目 次

1980年 1月 No. 45

2 ページ評論	高田富美野	2
---------	-------	---

特集 家庭生活と盲人

座談会「盲婦人の家庭生活」	4
---------------	---

糸島 正洋

藤井 リツ

谷藤みつえ

松井新二郎

家事訓練の実践から	視覚障害者調理指導研究会	14
-----------	--------------	----

1. 中途失明主婦の個別指導 15
2. 先天盲の調理個別指導 20
3. グループ形態による個別的指導 23
4. 講習会によるグループ指導 26
5. 買物の指導 30

施設紹介 脱皮を目指す東京サフランホーム	34
----------------------	----

先人の叡智（その7）	37
------------	----

人・人・人 拡大読書器の効果 司法試験に合格した野村茂樹さん	42
--------------------------------	----

米国の盲人教師—— ガーマンキン判決をめぐって——	46
---------------------------	----

インフォメーション・コーナー	50
----------------	----

編集後記	55
------	----

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

いよいよ明年は、国際障害者年を迎えることになります。この意義ある年をむかえるにあたり、世界の国はもちろん、わが国においても“完全なる社会参加と平等”のスローガンに基づき、行政はもちろん、民間サイドにおいても障害者の福祉をすすめるための長期的展望のもとに、各種準備がすすめられています。

障害者の社会参加をより容易にするためには、障害者を取りまく物理的環境の整備の改善、社会の人々の障害者に対する正しい理解が必要であることはいうまでもありません。それにもまして重要なことは、障害者自身の生活への意欲であります。障害に甘えることなく、安易な妥協をすることなく、みずから進んで残存する能力の可能性を追求して、生活の改善を図り、明るい生活をするのがきわめて重要なことであります。

この意味において、本号は生活問題を取りあげてみました。視覚障害者の福祉の中できわめて重要な問題であるにもかかわらず、ともすれば見過ごされがちな盲女性の結婚、ならびに、家庭生活の特集をこころみてみました。

読者みな様のご意見をお寄せいただければ幸いです。

なお、この号には一読者の方からのたいへん有意義な“投稿”を掲載しました。今後も積極的にみな様のご投稿を取り上げていきたいと思っておりますので、ぜひご協力ください。

(松井 新二郎)

視 覚 障 害	1980年1月 No.45
年間購読料	2,500円(送料とも)
発行日	1980年1月1日
発行者	本間一夫
編集者	松井新二郎
発行所	日本盲人福祉研究会
	〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目 23番4号
	日本点字図書館内
	電話(03)200-1130
	振替口座 東京6-16103
印刷所	合同印刷株式会社
	〒130 東京都墨田区業平2-9-13
	電話(624)6111(代表)

協賛団体 日本点字図書館